

2020 (令和2) 年度
推薦入試
[法学部]
小論文問題

注意

- 1 開始の合図があるまでは、開かないこと。試験時間は六〇分である。
- 2 黒色鉛筆を使用すること。
- 3 解答用紙の所定欄に、氏名・受験番号を記入すること。
- 4 縦書きにすること。
- 5 下書きには、この用紙の余白を使用すること。
- 6 書き損じても、解答用紙は再交付しない。
- 7 この用紙は、試験終了後に回収しない。

解答要領

解答は問題文中の設問の指示に従って、解答欄に適切に書くこと。

なお、句読点・かっこなども字数に加える。また、段落の初めの空きや、

段落の終わりの行にできた空きも、書いてあるものとみなし、字数に加える。

以下の「社説」を読んで、設問に答えなさい。

親の世代が手にしたら時代の変化を実感するだろう。来年4月から小学校で使われる、新しい教科書のことだ。^①
検定に合格した本の9割にQRコードなどが付いている。スマホなどの端末をかざすと教科書会社のサイトにつながり、用意された動画教材などを視聴できる。教室だけでなく、家庭での学習にも役に立つ。

この新技術は「教科書にできること」を大きく広げた。

実験の手順や道具の使い方が一目でわかる。5年生から正式教科になる英語の発音やアクセントも、繰り返し確認できる。月の満ち欠けのような現象は、図よりも動画で学ぶほうが理解しやすい。目や耳に障害のある児童の支えにもなるはずだ。

文化や自然にふれる機会の不足も補える。家庭の経済状態が厳しいと、博物館などに行ったり遠出したりするのは難しくなりがちだが、こうした教科書ならば、^aぎじ体験とはいえ知見を深められるだろう。

一方で、自宅に端末がない子のことを心配する声もあり、配慮は必要だ。大切な教材は授業中に必ず見せるようにする。学校やまちの図書館に端末を用意し、自由にアクセスできるようにする。そんな対策を学校や教育委員会に求めたい。

新指導要領では、高学年を中心にプログラミングも扱う。

重点は技術の習得よりも考える力を鍛えることにある。ある教科書は、^②1辺4センチの正方形をロボットに描かせるにはどうするかを問い、「4センチ直進」「90度左折」の指示を重ねることを教えたうえで、次の課題を示す。必要なのは、筋道を立てて考え、正確に伝える力だと気づかせる工夫だ。

技術はいずれ古くなっても、論理的な思考は一生役に立つ。国語の説明文などの理解力向上にも通じるとの認識をもって、指導にあたってほしい。

「ゆとり」批判に懲りて、教科書は検定のために厚くなってきた。今回もページ数は平均10%増えた。教員の世代交代を受け、経験が浅くても教えやすいように、授業のヒントを豊富に盛り込んだのも一因だ。

だがお膳立てが過ぎると、子どもは自分で考えなくなる。先生は先生で、全部をこなそうとすれば表面をなでるだけの授業になり、指導要領が掲げる「主体的で深い」学びから遠くなるという矛盾におちいつてしまう。

質と量の二兎（にと）を追うには限界がある。新たな教科書の可能性を確かめながら、求める学習量が適切かを見きわめ、

是正を図ることも必要ではないか。

(2019年3月28日 朝日新聞 朝刊「社説」)

設問

1. この「社説」に適切なタイトルを20字以内でつけなさい。

2. 傍線部 a 及び b を漢字で書きなさい。

3. 傍線①に関して、筆者は、この「社説」全体で、新しい教科書の特徴を2つ挙げています。筆者はその2つの特徴のうち、一方については肯定的に、他方については否定的な評価をしています。この2つの特徴の内容を最も適切に表す語句を、それぞれ漢字3文字と漢字1文字で文中から抜き出しなさい。

4. 傍線②を応用して、1辺3センチの正三角形をロボットに描かせるための次のア～オまでの5つの指示のうち、2番目から5番目までのイ～オまでの指示を、それぞれ解答欄の空欄に記入しなさい。なお、角度は、進行方向を0度として計測する(進行方向と反対の方向を180度と表現する)ものとする。

ア 3センチ 直進

イ 左折

ウ 直進

エ 左折

オ 直進

5. この「社説」の筆者の意見に対して、あなたの考えを501字以上600字以内で示しなさい。